

聖マリアンナ医科大学病院、または聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、川崎市立多摩病院で内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

「90 歳以上の超高齢者に対する ESD 後の転帰および死因の検討」に関する研究について

① 研究の目的

近年、高齢化の進展に伴い、90 歳以上の超高齢者に対しても内視鏡的粘膜下層剥離術（Endoscopic Submucosal Dissection : ESD）が施行される機会が増加しています。ESD は低侵襲かつ根治性の高い治療法として広く普及していますが、90 歳以上の超高齢者に限定した治療後の転帰や死因に関する報告は十分ではありません。本研究では、90 歳以上の超高齢者に対して ESD を施行した症例を対象に、治療後の転帰および死因を調査し、超高齢者に対する ESD の適応や治療方針を検討することを目的としています。

② 研究対象について

2016 年 1 月 1 日から 2026 年 6 月 14 日までの間に、当院において消化管腫瘍に対して ESD を施行された 90 歳以上の患者さんを対象とします。この調査の対象となられる方で、ご自身あるいはご家族の情報を本研究に使用してほしくない場合は、2026 年 10 月 30 日までに下記の連絡先までご連絡ください。お申し出があった場合には解析対象から除外いたします。なお、期間内にお申し出がなかった場合には、本研究への参加についてご同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

③ 研究実施期間 承認日～2029 年 12 月 31 日

④ 抽出項目

年齢、性別、身長、体重、Performance Status（PS）、Charlson Comorbidity Index（CCI）、Prognostic Nutritional Index（PNI）、血液検査所見、飲酒歴、喫煙歴、生活環境、介護度、病変部位、ESD 施行日、病理組織学的所見、偶発症（出血、穿孔、肺炎、発熱等）、治癒切除の有無、追加外科治療の有無、退院先、生存状況、最終確認日、死亡日、死因、併存疾患および内服薬を電子カルテから抽出します。

なお、当院診療録のみでは予後情報の確認が困難な症例については、必要に応じて紹介元医療機関へ照会し、生存状況、死亡日および死因に関する情報を収集します。

⑤ 個人情報の保護について

この研究では登録の時に新たに研究用の個別の番号（識別コード）を付し、個人が特定できない様にして取扱います。個人情報と識別コードの紐づけ表を作成し、消化器内科医局の鍵付きの棚で厳重に保管します。

⑥ 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

⑦ 問い合わせ先・相談窓口

連絡先

(1) 聖マリアンナ医科大学病院 消化器内科 電話番号 044-977-8111（代表）

担当者 小松 拓実（内線番号 80381） 対応時間等 平日日中 9：00～17：00

(2) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科 電話番号 045-366-1111

2026 年 6 月 14 日 作成（第 0.2 版）

担当者 石田潤（内線番号 8223） 対応時間等 平日日中 9：00～17：00

(3) 川崎市立多摩病院 消化器内科 電話番号 044-933-8111

担当者 落合康利（内線番号 8183） 対応時間等 平日日中 9：00～17：00

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会（臨床試験部会）にて審議され学長の許可を得て実施しております。

実施責任者 小松拓実（聖マリアンナ医科大学病院 消化器内科 助教）